

あなたとJAをむすぶ情報誌

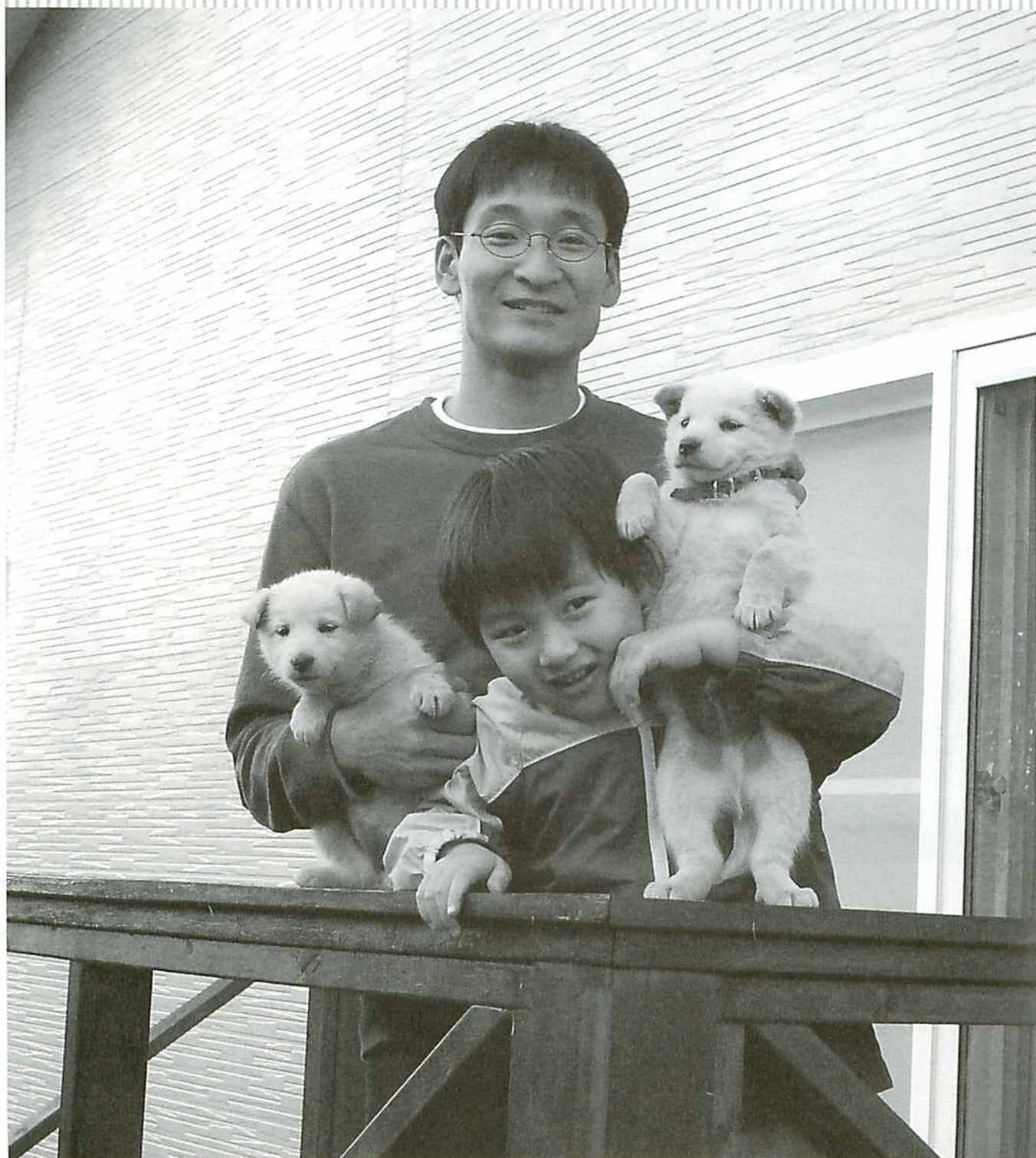
# なかしべつ

2003

11月

No.347

牛も人も明るく楽しく健康に、ゆとりのある酪農を継続していきたい



# 親子で当農協の農業施設を体験!

当農協青年部は十月四日、消費拡大・情報交流事業の一環として中標津小学校の一年生・二年生を対象とした「第一回JA中標津・親子農業施設体験事業」を開催しました。参加した七親子総勢二十一人は、JA中標津のさまざまな農業施設で行われている取り組みについて農協青年部の説明を聞き、ダイコン抜きと芋掘りを体験しました。

今回の体験施設は、当農協の「肉牛生産センター」、「乳製品加工施設」、「だいこん集出荷・選別施設」、「なかしべつマリンスファーム」の四カ所。これらの施設をバスで廻り、当

農協で生産された製品がどのように流通しているかや、いもの由来方、だいこんの由来方などを絵や実物を見ながらの体験となりました。

当農協青年部は、六十四人の部員のほとんどが酪農家ですが、今回の視察に際して、説明文を考えたりするのにも何度も集まり案をねりました。

また、自分たちも普段、あまり触れることのない、いもやだいこんといった農産物の勉強になりました。

体験先では、中標津牛乳や中標津珈琲、ケフィアオーレについて、販売価格はいくらですか? との問いに、普段から慣れ親しんでいた知っているお母さんの方が値段を良く知っていたりと、鋭い質問に青年部員もタジタジでしたが、当農協の商品を身近な消費者に対して、さらに理解を深められ、最近クローズアップされている、「食育」という部分でも微力なりとも協力できたのではないかと、大変有意義な事業となりました。

最後のアトラクションでは、子供たちじゃがいも掘りとダイコン抜きを行わせ、子供たちは泥んこになりながら大きなダイコンを抜くのに必死で、時間になってもダイコンを抜いている一幕も。お土産に自分で収穫した野菜を両手に、親子で大満足の農業体験になったようです。



ダイコン抜きは親子で楽しみました



肉牛センターの牛、大い



イモの出来方なども説明

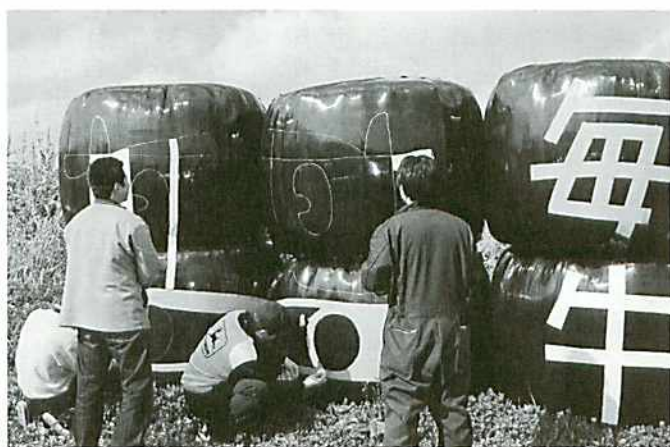


参加者全員でポーズ

# 武佐岳・開陽台をバックに 牛乳消費拡大メッセージが完成しました



10月21日(火)開陽・吾妻牧場にて、ロールバックメッセージを作りました。



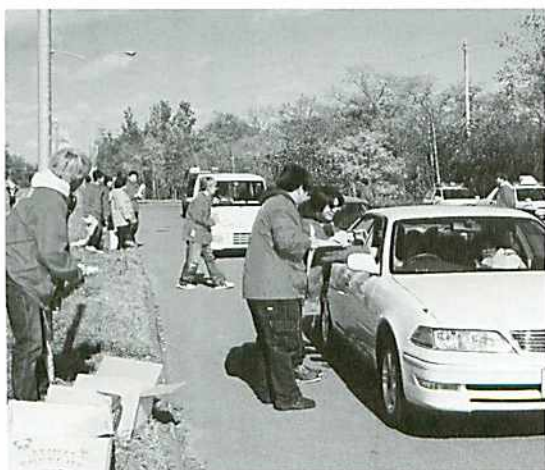
牛の絵は難しかったが新しい手法でした

## 「交通安全」と「乳製品を摂ろう！」と訴えました

農協青年部は十月二十四日、消費拡大委員会を中心に、女性部役員らと中標津警察署、交通安全協会などの協力を得て、バイパス沿いの「みちるべ」前で、秋の交通安全と消費拡大に向けた取り組みを行いました。

毎年恒例となっておりますこの活動ですが、今年は場所をバイパス沿いに移して行いました。秋晴れの天気でしたが、さすがに肌寒く、交通安全のパンフレットと消費拡大を狙った中標津牛乳・中標津珈琲を渡す手もかじかむほどでした。

五十部用意したパンフレットと、四百個用意した牛乳など小一時間で配り終わりました。最近、死亡交通事故が増加している中標津町周辺ですので、皆さんも安全運転とシートベルト、スピードの出し過ぎには十分注意しての運転をお願い致します。飲んだら乗るな



みなさんも安全運転で宜しくお願い致します

昨年のロールバックメッセージは、根室地区青年部連絡協議会（地区青協）の総会にて、見事に最優秀賞を獲得。今年はどうと...。今年昨年の四段積みからシンプルで二段積みとなりましたが、文字を四つに書くという新しい方法で取り組みました。また、牛の絵を入れるということにもなり、企画の段階では非常に心配でしたが見事な牛の絵がラップに描かれました。

「今年度も最優秀賞か？」と早くも盛り上がりつつありますが、結果はいかに...。 (記▼農政・組織研究委員 筒井辰也) テープを貼る簡単な作業ですが、手先の不器用な自分には大変でした。「家で作ってるの？」と思わせるほど、手際良く作業していた藤田晋副部長には驚きました。佐々木部長の指示のもと、全員がテキパキと作業し、あつという間に二十四個のラップにメッセージが出来上がりました。参加された役員、消費拡大委員の皆様、大変ご苦労様でした。

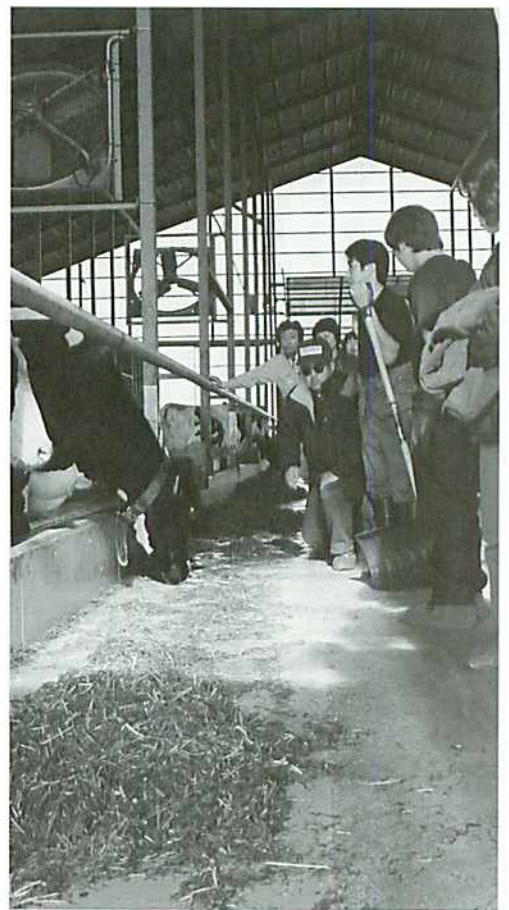
# High Quality Milkを目指して

## 乳質改善 セミナー

酪農課

去る、10月9日・10日で執り行いました当農協主催の乳質改善セミナーに当たりまして、標津農協様の共催を得、また、各関係機関のご協力を頂きながら開催し、大勢のご参加、ご支援を頂き何とか終了する事が出来ました。これも皆様方、酪農産業に係わる者の使命として、共に切磋琢磨しようとする思いが我々生産者と一緒である事の証と大変心強く思い、今後のご活躍になお一層の期待を寄せるところであります。当農協も、一丸となり、今まで以上に皆様と乳質改善に努力し、経営向上を目指して行きたいと思っております。

### 本年度のポイント



- (1) 酪農技術を高める理由
  - ・ 乳量・乳質の向上
  - ・ 繁殖成績・牛群健康水準の向上
  - ・ 牛乳生産コストの低下
- (2) 目的・合理的な技術
  - ・ 作業には、最終的な目的があり、その目的達成のために合理的に組立てられていることが重要である。
  - ★例Ⅱ除糞の目的、牛体衛生の目的、牛床衛生管理の目的など
- (3) サイレージ調製での目的
  - ・ 迅速詰込。鎮圧・密閉の作業について科学的な根拠を理解した上で作業を行うと、二次発酵のリスクが減ります。
  - ・ サイレージ置場からの給餌路線は、泥が付かないような工夫（構内舗装は最適）が必要である。
  - ・ NDFを意識した収穫が、乾物摂
- (4) 取量をより高める事が出来る。
  - ・ 分娩の科学を考える
  - ・ 分娩のタイミングは、胎子が決める。
  - ・ 分娩時の生理的過程を無視した介助は、逆に母子共に回復出来ない大きなストレスを与える結果となり、哺育期の死亡率が高まる。また、発育も遅れる。
  - ・ 分娩介助が必要な時は、子宮の収縮に歩調を合わせた穏かな牽引だけが許される。ホルスタインで七十キロまで。
- (5) バイオセキュリティの目的
  - ・ 牛群を新しい病気の侵入から守る。
  - ★この事は、農場内の施設間でも意識する事が重要である。乳牛を購入する時は、伝染性乳房炎・ヨーネ病・ヒールワーツなどの検疫の概念が必要となる。
  - ・ 糞尿（地表水）の流れる方向に伝染病は流れる。



★農場に出入りする全てのものに対して意識する必要がある。

★農場の施設レイアウトは最も重要となってくるため、最初から意識したレイアウト（農場施設配備構想）が重要などなど、たくさん重要なポイントの説明があり、酪農技術の奥の深さを実感いたしました。

今後、この技術に対して噛み砕いて紹介して行きたいと考えております。なお、今回のセミナーに当たりまして、一部事務局側の不手際によりお聞き苦しい点がございました事に対して、深くお詫びする事を申し添える次第でございます。

来年度につきましては、本年度の反省事項を踏まえ、より一層密着型の、肩のこらないセミナーを企画して参りたいと考えておりますのでご期待下さい。

# 自分もお客さんも 楽しめる「コンビニ」で

秋、おでんの季節ですね。今回の誌上異業種交流は、「おでん」の提灯が夜のコンビニ前に輝き、おもわず食欲をそそられるコンビニエンスストアオーナーの篠田静男氏です。



中標津町のコンビニエンスストア件数を調べてみますと、北海道を本拠地とするS系列六店、T系列三店、S系列四店、独自一店と十四店舗が各地域に出店し、しのぎを削る熾烈な業界。その中で、系列からも異端と言われながら、自分の信念のもと、地域に密着した店舗展開を行っている

るのがオーナーだ。

この業界に飛び込んだのは三年前。以前は標津の土木建設会社、篠田興業の専務であった。人には「百八十年の転換」と言われることもあるが、単純に決めたわけではなく、一、三

## 誌上 異業種 交流 ②

コンビニエンスストア  
篠田 静男氏



年かけて考えに考えた結果なのだという。衣・食・住の二番目に来る安定した集客が望める業種、さらに二千六百種類の商品群。立地的に同業他社の方の迷惑になる場所には出店



する気は無かった。実際、通常コンビニを中心とした半径で商圏を特定し出店を吟味するものであるが、この立地場所は、河川を挟むため、円ではなく半円しか商圏が無いのである。しかしながら、東中で警察の測定もしばしば行われている「通り」だ。交通量がなければ測定も行わないと考えれば、出店しても採算ベースに乗る可能性がある。実際にオープンしてからは、地域の人に育てていただいているという思いが強いと語る。

コンビニは清潔感も売り物にしなくてはならないところ。この店舗が、店内・外の清掃を徹底する中、お客さんが別のお客さんを「長靴の泥を落して入れ！」などと叱ってしまいうほど。お客さんには助けられている良い循環があるという。汚い環境であれば、お客さんがそのようなことを言い出すなんて考えられない。普段の積み重ねがあるから認められているのである。

昨年の冬には道路沿いに綺麗なイ

ルミネーションがお目見えした。夏には噴水。秋はおでんの提灯。今冬は十五メートルもの巨大電飾ツリーを企画する。お祭りごとが好きなこと、通りが暗いための防犯対策。一番は、自分もお客さんも楽しめるコンビニにしたいという気持ち。マニュアル化されているコンビニでも「核」になっていることは、相手をどこまで気持ち良くしてあげられるかだ。全ての商品が、厳格な管理の元、製造過程で「食べる人の口を目標に持つて作られている」こと。これが、自分が売っている商品の自信につながっている。

この辺は、搾乳している時、実際に飲む人の事を考えて、搾っている農家の気持ちに似ていますよね。

特色ある店作りを展開している篠田オーナー。店内には他のコンビニには見られない、いろいろなアイデアが溢れている。

十年ひと昔ではなく二、三年でひと昔と言えるほど経済の流れが速い。昨今、見極めないと乗り遅れる。しかし、山谷あるのが経済でもあり、ただ漠然とではなく一生懸命やりつづけ振り返ったときにその苦勞は報われてはいるはずと信念に向かって今後の展開を描く。

取材後の日曜日、店舗と遠く離れた「しるべつと」駐車場のゴミをクルーと一緒に懸命に拾っている姿を拝見し、このお店が地域に好かれるお店であることを確信した。

ちょう しょう じ けん じ  
長正路 健二さん

【パーソナルデータ】

昭和47年10月18日生まれ。天びん座  
家族構成は  
父(清さん)、母(八世栄さん)、妻(恵美さん)



青年部当幌一の  
「癒し系」です

今月号の表紙を飾ったのは、当幌地区の長正路健二さんです。健二さんは埼玉県出身。小、中は埼玉、東京(詳しくは本人に聞いてください)の高校、大学を卒業。技術系の会社で三年働いて「広い北海道に憧れ、自然の中で働きたかった」と北海道に来ました。鶴居村で何件かの実習に入り、縁あって恵美さんと出会い結婚。十月で一年を迎えました。仕事は牛舎の掃除、親牛の給餌と父の清さんが担当していた仕事を担当。共同での草の収穫や堆肥撤きも頑張っています。

農協青年部の活動は、今年度から本部に加入。農政組織委員として委員会なども積極的に参加しています。「イヤラシ系」の多い当幌支部の中で、唯一の「癒し系」です。

おっとりした外見とは違い、昔は剣道をやっていたそうで、スポーツ万能です。ミニバレーで時折見せるアタックは怖いものがあります。

趣味はと聞くと「今は写真(仔牛などがメイン)」と答えてくれましたが、ほかにもありそうな様子です(この夏には、表紙写真にはちよつとしか写っていませんが、ウッドデッキを自作したそうです)。

将来の目標はとの問いに、「今の良い乳質を維持し、基本的に牛も人も明るく楽しく健康に、ゆとりのある酪農を継続していきたい」と答えてくれました。

取材当日は東京から帰ってきてす



ぐの取材でしたが、疲れた様子も見せず快く応じてくれました。取材中は恵美さんも同席し、健二さんの質問に対する答えに「初めて聞いた…」とツッコミを入れていました。これからも夫婦仲良く(こう書くとき普段は悪いように聞こえますが、決してそんなことないです。念のため…)頑張って長正路牧場を盛り上げていってもらいたいです。

そして、健二さんは当幌の「イヤラシ系」に染まらないことを祈ります…。

▼農政・組織研究委員長 筒井辰也





ふくしま のぶひろ  
福嶋 信博

第7弾

宣言



やすだ まさし  
安田 正嗣

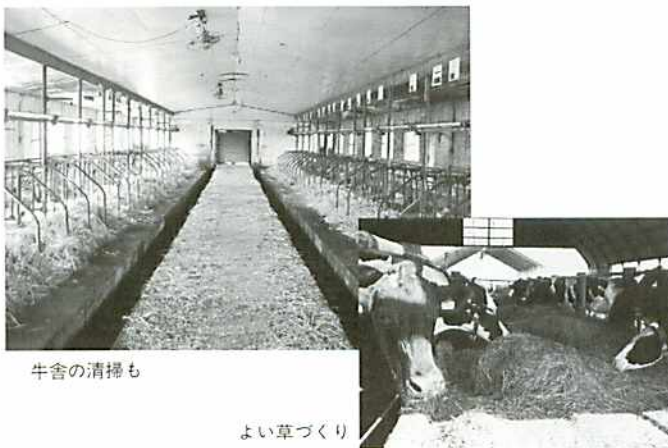
就農して、はや12年余り、家業を行いながら、8年間酪農ヘルパーを行い、移譲して2年目となります。学生時代から消費者と触れ合う事が多く、安全で安心の出来るクリーンな乳牛を生産することは、我々酪農家の使命でもあり、責任であると感じていました。自分の職業に自信と誇りの持てる酪農家になりたいと思い、今日に至っております。

乳質は体細胞数20万前後で、自分の経営方針である「長命連産・高生産」に則り、平均産次回数増加、サイレージの調製・維持の失敗により上昇してしまったという自覚があります。生菌数に関しては、全自動洗浄に依存しすぎ、液剤粘着による洗浄機能の不順、ミルクホース洗浄不適により、どちらも納得できる結果ではありませんでした。子どもの頃から酪農の3本柱「土づくり、草づくり、牛づくり」を念頭に今日まで取り組んできました。これからは、さらに「いい乳づくり」を付け加え、消費者にも自信を持って勧められる牛乳をいろいろな角度から考え、生産していきたいと思えます。「いかに健康な牛達から、クリーンなおいしい牛乳を生産できるか？」を目標に、清潔な牛体の維持、牛舎内洗浄・消毒、牛舎内外環境整備、搾乳方法の再考、器機点検・整備、定期交換など、やるべきことは山ほどあります。特に牛舎内外清掃・消毒を定期的に行い、消費者、生産者が見てもクリーンな環境、牛から見てもやさしい乳生産に取り組んでいきたいと思えます。

当幌地区の安田正嗣です。私が後継者として中標津に戻って来て2年が経とうとしています。初めの1年は一つひとつの仕事をこなしていくのがやっとでした。2年目の今は、少し余裕も出てきていろいろなことに興味や疑問を持つようになりました。特に乳質については、搾乳の技術の中でも、様々な要素が絡み合う難しい部分。おさなりになりがちな簡単なことから、施設面に至るまで気を配っています。

搾乳ではディッピングが乳頭全体につくようにするなど、細かな所まで意識するようにし、乳房炎の早期発見と治療にも努めています。施設面では、16年前に建設されたF S牛舎が最近の技術と比較して、天井が低く建設されていたので、空気が滞ってしまいがちでした。そこで、14台の送風機を導入しました。すると、牛床は以前と比較して乾きやすく、牛舎の臭いも少なくなりました。牛に気持ちよく生活してもらい、その中で人が気持ちよく仕事をする。これが、私の考える酪農です。今の乳質・成分ともに私が戻ってくるまで、両親が高めて維持してくれていたものであり、私はこれを継続し、さらに良いものにしていくよう努力していきます。

今後、力を入れていきたいことは、繁殖管理や乾乳牛の管理などです。また、2年間で増えてしまった私の体脂肪も減らしたいです。



牛舎の清掃も

よい草づくり



送風機の導入は効果が高い

	平成14年度 現状	今後1年間 の目標
生菌数	0.5	0.1
<b>最重点目標</b> ◆ 体細胞数	<b>25.5</b>	<b>18.0</b>
F%	4.22%	現状維持
SNF%	8.68%	現状維持
P%	3.22%	現状維持
全固形	12.90%	現状維持

	平成14年度 現状	今後1年間 の目標
生菌数	0.1	現状維持
<b>最重点目標</b> ◆ 体細胞数	<b>9.4</b>	<b>現状維持</b>
F%	4.13%	現状維持
SNF%	8.91%	現状維持
P%	3.35%	現状維持
全固形	13.04%	現状維持

# アイドル IDOL



## ご飯大好き！ 元気印のしおりちゃん

時折の寒気で山浴いが白む季節となった十一月の人気者は、武佐地区・佐藤尚さん宅・長女・栞ちゃんです。

標準よりちよっぴり体は小さいけれど、ご飯が大好きという栞ちゃんは、至って健康く元気印！ お邪魔したこの日も、声を張り上げて広い家の中を縦横無尽に動き回って遊んでいました。

さて、いつもの栞ちゃんは、どんなことをしているかというところ、なんでも目につくものは、おもちゃになっってしまうことはもちろんだけれど、ママが大好きだという「プーさん」のぬいぐるみで遊んだり、風船やボールで遊んだり、窓越しに放牧されている牛を眺めたり、最近では、カーテンの中にこっそり隠れて遊ぶことを覚えて、ちよっと姿が見えない？ と思うと、カーテンと窓の間に身体を隠して一人かくれんぼをするお茶目さん。あまりに家中を動きすぎて疲れてしまうのか、突然静止しては、パパ曰く充電中〜！

なんだとか…。それから、人見知りは全然しないので、来訪するお客さんとはすぐに仲良しになって一緒に遊ぶんだけど、みんな

帰ってしまったって誰もいなくなると寂しくって。パパ・ママに甘



えたりしてしまう一面も…。

そんな栞ちゃんのこれからに期待することはと尋ねると、「これまで通り、病気なく元気でいてくれれば…」と、ママは答えてくれました。

栞ちゃん！ やさしくて温かな目で見守ってくれるパパとママのそばで、ご飯をたくさん食べて、今より元気に、そして大きくなあれ！



佐藤 栞ちゃん

さとう しおり  
2002年9月29日生  
佐藤 尚・裕紀子さん夫妻の長女  
として生まれる



家畜改良課より

# 代謝機能と栄養素 その2



秋も深まって寒くなり、冬到来の予感。朝、起きるのが辛い、布団から出るのがさらに辛い時期というのは私だけでしょうか？ この原因の1つは、今回紹介しますマグネシウムの低下によるのかもしれませんが？

今回は、重要なミネラル分としてマグネシウムについて紹介していきたいと思います。

前回は代謝の構造と重要な栄養素の一つであるカルシウム（Ca）について書かせていただきました。

代謝とは吸収された栄養分が血液を通じて体機能を維持するということで、これらのバランスが崩れると生産病につながるために適正な栄養管理が重要であるということ、その他にも重要なミネラル分の一つであるCaの機能と不足によって発生する疾病などについて紹介させて頂きました。

## マグネシウム(Mg)

マグネシウムは心臓、筋肉、神経、骨にとつて、重要な物質であり、主な働きは歯や骨の代謝の維持、血液凝固の抑制、体温・血圧の維持などであり、神経と筋肉が効果的に機能するのに欠かすことのできないミネラルです。また、生体内のMgはCaに比べてはるかに少ないというのも特徴です。

## 低くなる原因は？

ミネラル添加剤の不足、泌乳による流出、給与飼料中のMg不足など

があげられます。

## 極端に低くなる場合…

## 低マグネシウム血症にも

別名グラスステタニーを起こす場合が考えられます。低マグネシウム血症を発症すると興奮・けいれん状態になり、起立不能から呼吸困難を起こして短時間で死亡するという窮めて危険率が高い疾病です。

低マグネシウム血症は放牧開始時に起こると言われています。

この原因は春先の牧草に含有しているMg含量が十分に成長したときよりも少量であるためです。この疾病は主に肉牛に多く、乳牛では比較的に珍しいといわれています。

しかしながら最近では潜在性の低マグネシウム血症が乳牛において多く見られているといわれています。

## 潜在性 マグネシウム血症

潜在性の低マグネシウム血症は前

回紹介した恐るべき低カルシウム血症の重要な要因になっている可能性があるのです！

なぜなら、血中マグネシウム濃度の減少は血中カルシウム濃度を正常に保つビタミンDの働きを阻害するためといわれているからです。

低マグネシウム血症の予防は、飼料中に十分な量のマグネシウム添加剤を混合することです。NRC飼養標準によると一般的に総飼料中〇・一九%含むよう調節すると良いようです。

このように一つの栄養のバランスが崩れていくとそれに起因して他のバランスも崩れてしまい、結果として事故牛及び疾病牛を増やすことになってしまいます。

栄養状態の把握は我々や皆さんにとつても重要な課題であり、永遠のテーマの一つでもあります。解らない点がありましたら、気軽に聞いてみてください！それでは今回はこの辺で…。

\* \* \*

次回は、代謝機能と栄養素についてをお休みし、育成の飼養について触れてみたいと思います。

# 驚き、感激！

熟年会  
秋の研修旅行

## 秋の宗谷方面への旅

熟年会のバス旅行が十月一日から四日の旅程で行われ、四十人が参加、秋の宗谷方面への旅となりました。今回は、開陽の小塩美代子さんに原稿を依頼しておりました。

昨日までのどしゃぶりの雨もどこへやら、今朝は、秋晴れの清々しい旅行びより、私たちの旅を祝福してくれているようでした。

私たち参加者は四十六人の大家族。二台のバスに便乗し、針路を北に取り宗谷岬へと走り続ける。さなか、いろいろと珍しい所を見物させていただき、車内ではみなさんお元気で話に花が咲き楽しさを胸に詰め、にぎやかな車内。ガイドさんの説明に耳と目も忙しい。口はオヤツとお話で休み無し。赤い絨毯を敷き詰めた様な能取湖で、サンゴ草を背に記念写真。このときばかりは、皆さんおすまし顔。夕方、歌登ホテルに着き、お部屋に入り窓に近づけば外の景色は紅葉の山々。鮮やかに部屋の中まで染まり尽くしている様でした。

カラーじゃないのがもったいない。能取湖のサンゴ草の赤いジュータン

着替えて、お湯に浸かり一日の疲れを癒し皆様とくつろぐ途中、珍しい物ばかり見物させていただき驚きやら、感激でありました。果物狩りは我が手で触れて体験させていただきました。

旭岳ロープウェイでの眼下に広がる景色は見事な紅葉となり、何とも言えない美しさ。山は雪で白いベールに包まれておりました。

十勝岳に着きますと、空は青。赤・黄・緑で山並みをキャンパスに、絶妙の色合いの錦絵を描き出している紅葉真っ盛りの十勝岳の麓でした。

また、トナカイ牧場に行き初めて見たトナカイの角にびっくり。また、手の平より餌をパクパクと食べれ可愛いしぐさ。チヨウザメも見せていただき、大きな体なのでまたびっくり。まだまだいろいろなことがあり、この場では書ききれません。参加させていただき、長生きして良かったなとしみじみ感じております。夫も体が弱いので、皆さんに気を遣っていたいただき仲良く三泊を過ごし、帰ってこられたことをありがたく思っております。皆さまお体にお気を付けてお暮らし下さい。

## 太田チームが連覇！

組合長杯ゲートボール大会

平成十五年度組合長杯ゲートボール大会が十月十日(金)、町シルバースポーツセンターにて開催されました。

午前九時から受付及び対戦チームの抽選を行い、九時二十分より開会式が行われました。熟年会役員・広瀬氏の開会宣言、藤井大会長の挨拶に続き乾参事から祝辞をいただきました。その後、佐々木審判長より競技上の注意説明があり、前年度優勝チーム主将である太田俊昌氏の選手宣誓、乾参事の始球式で競技を開始しました。

今年度は、四十三人の参加者になり、地区混合八チームに分かれて午前九時四十五分、二コートを併用し十四試合が行われました。熱戦の結果、太田俊昌チームが四戦全勝で二年連続の優勝に輝き、準優勝に坂本弘チーム、三位には遠藤忠義チーム、四位は中林勇チームという結果で幕を閉じました。午前の部八試合、午後の部六試合、全員怪我もなく秋のスポーツで汗を流しました。



7番の攻撃に息をのむ選手たち



## 海釣り企画

酪農実習生受入協議会

# 大漁ニッコリの 実習生交流会でした

酪農実習生受入協議会主催の実習生交流会が、  
10月28日(土)に行われました。



今回の参加者は、中国研修生を含む長期実習生十三人。さらに今回は、数年ぶりの海釣り企画で、標津漁港付近での海釣りとなりました。相談課職員、長瀬課長補佐、青木係の手伝いによる釣り指導? の他、豚汁や焼き肉も振る舞われ、秋の肌寒い気候の中でしたが、カレイや大マイをたくさん釣り上げる漁果に大満足



カレイのトリプルにニッコリの岸本さん

の交流会となりました。  
今回、一番の太公望は開陽の丸田牧場で実習中の岸本久江さん。今回の交流会の感想をいただきました。

\* \* \*

標津の漁港に着いて、みんなの「寒い寒い」との声があがる中、今回の交流会がスタートしました。  
釣り始めてなかなか魚がかかることなく待つこと数十分。最初の一匹を釣り上げると次々に釣れ始め、終わってみればなかなかの量(漁?)でした。初めて釣りをした人が多かったのも、ビギナーズラックだったのかもしれない。  
昼食を囲みながら、普段あまり話をする機会のない農協の方とも話ができ、楽しい交流会でした。



ナイススイングな長正路氏

酪農対策協議会主催の第三回酪農会長杯親睦パークゴルフ大会が十月七日、道立ゆめの森公園パークゴルフ場で開かれ、四十九人が参加しました。競技コースは「まきばの」、「コスモス」、「そよかぜ」の三コース。総打数で勝負を決し、男子の部は秋山久雄さんが優勝、女子の部は沖タカ子さんが優勝、熟年の部で優勝の久保慶一郎さんは三コースを七十六打で廻り最優秀賞にも輝きました。  
その他の成績は次の通りです。  
▼ホールインワン賞 田代富子まきばの九ホール。滝本広まきばの四ホール。名越優そよかぜ七ホール。

第3回  
酪農会長杯  
パークゴルフ  
大会

最優秀賞に  
久保氏  
(76打)

女性部  
パークゴルフ  
交流

# 笑い声と 快音が響く秋の一日

十月三日、道立ゆめの森公園パークゴルフ場で女性部のパークゴルフ交流会が開催されました。前日までの雨も嘘のように当日は心地よい秋晴れとなりました。さて早速、パークゴルフスタート。



参加者の中には、毎日練習を重ねている人もいれば、年に一度、この女性部の行事でしかやらないという人もおり、自分のプレーに納得がいかないのか？ どこからともなく悲鳴のような声が、笑い声と一緒に響いておりました。結果は：練習を重ねている青葉会の部員さんが強しと、上位を独占しながら田代富子さんが一位に輝きました。

終了後は、園内デイキャンプ場に場所を移し、昼食を兼ねた焼き肉で交流を深め、楽しい秋の一日を過ごしました。



ウワ〜っ、入れ〜！

女性部  
フレッシュミズ  
乗馬体験

# 雄大な大自然の 中で乗馬を体験しました



慮で、今すぐに馬に乗ってみたいという部員の希望が叶い実現したもので、大西さん所属のはまなす乗用馬生産組合代表・佐藤祥悦さん宅・野付ライディングファームにて行われました。

まずは、チャップスを足に着け、ヘルメットをかぶり、これだけで乗馬気分！緊張を隠せない部員はいざ騎乗。まずは馬場にてレッスン。姿勢と手と足と身体、全て一度に集中するのは難しく、無我夢中のレッスンでした。その後、早速トレーニングへ。野付の浜辺は、国後・白鳥・帆掛け船・カモ：と、絶景の中の騎乗は、忘れかけていたゆとりの時間を思い出させるそんな時間でした。レッスンで習得した早足までに加え、一瞬ではあるものの駆け足も体験し、満足の乗馬となりました。

実際では、馬に乗ったというよりも、賢い馬に乗せられていた感のある一日ではありましたが、終了後に用意された昼食のピザを食べながら、奥の深い馬の話に感心し、また乗りたい気持ち胸に帰りました。帰宅後、全身筋肉痛になったことは、言うまでもありません(笑)。

十月三十一日、フレッシュミズの部員数名は、野付ライディングファームにて、乗馬トレーニングに挑戦しました。

フレッシュミズ部員のご主人でもある依橋地区・大西雅秀さんのご配

# 心の健康を目指し、管内の女性がカウンセリング研修

JA根室地区女性協議会主催の「JA根室地区フレッシュミズ研修会」及び「JA根室地区女性部研修会」がそれぞれ行われ、両研修会とも町内在住・家庭生活カウンセラーの阿部ゆかりさんを講師に招き、心についての研修となりました。



講師・阿部ゆかりさん

## 「心の声を大切にしよう」に共感・興奮！

●JAフレッシュミズ研修会に参加して 飯島 洋子

十月二十二日～二十三日、ウトロ温泉にて結婚して初めての宿泊旅行。しかも子供二人連れて参加しました。主催者側の配慮で毎年準備してくれているという託児室へ子供達を預け、いざ研修へ。講師・阿部ゆかりさんの講演「心の声を大切にしよう」では、先生や仲間の話を聞き、自分も話し、共感！・興奮！…何故か涙がでて今までに経験したことのない不思議な気持ちに、自分でもびっくりしました。翌日のコミュニケーションの実践では、自分は良かれと思いついた言葉が相手を不快にさせてしまったり、心を閉ざす方へし向けてしまうこともある。また、相手の意見（心の声）を尊重するだけでなく、大切な自分の気持ち（心の声）を、どんなタイミングで伝えたら良いのかなど、たくさんさんの事を学ばせて頂きました。日常で実践できたらいいなと思います。講師・横田純子さんの「太極拳講座」



太極拳講座の様子

## 私らしくを大切に

十月二十八日、中標津町・寿宴において、JA根室地区女性部研修会が開催され、管内女性部員約百人が参加しました。管内部員によるフレッシュミズの主張、家の光記事活用体験発表が行われた後に、講師には阿部ゆかりさんを招き、「私らしくを大切に」をテーマに講演が行われました。講演の中では、私らしく・自分らしくあるためには、いかに自分自身を良く理解していなくてはならず、何気ない動作や言動には、自身自身の本当の姿が見え隠れしているということ、また、現状の自分には表と裏があり、自分が悲観的に思うことも、人はすばらしいことと感じるかもしれないと、常に悲観的心をなくしていくことが、心の健康につながるということもわかりました。研修の最後に行った、「コミュニケーションの実践「伝言ゲーム」」では、人のうわさ話の典型で、「らしいい…、かもしれない」と、いう話の内容が、人づてに伝わることで尾ヒレがいくつもついて、事実ではない話が伝わってしまい、いかに、人の目、噂は気にせずに生きることが、私らしくあることだと参加部員は身をもって体験しました。



フレッシュミズ研修会に参加した親子でハイ・チーズ！



私の心は健康なんだろうか？

# 農家経営

## 冬の健康管理

インフルエンザにご用心・健康は健全経営の源

北根室地区農業改良普及センター

### 一、風邪と似ていても違う病気

インフルエンザの症状は、のどの痛みや咳、鼻水など普通の風邪とよく似ていますが、三八℃以上の熱が出たり、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強くなるのが特徴です。また、気管支炎や肺炎などの合併症を引き起こすこともあり、普通の風邪とは全く違う病気です。

### 二、気温・湿度の低下により現れるウイルス

インフルエンザのように吸呼器系の感染症を引き起こすウイルスは、気温と湿度が上昇すると消滅し、涼しい季節がくると再び現れるといわれています。

北海道(保健福祉部疾病対策課)では、今のところ沈静化しているSARSも、気温が低くなる秋から冬にかけて再び流行するおそれがあると注意を呼びかけています。

### 三、間違つと大変なこと

SARSの症状である三八℃以上の急な発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状は、インフルエンザの症状と似ているので、区別がつきにくいといえます。

インフルエンザの流行時期にSARSの発生が重なると、SARSに感染している人が、自分の病気をインフルエンザと誤認し、多くの人にSARSを感染させてしまうおそれがあります。

### 四、インフルエンザの予防

インフルエンザにかからないことがSARS感染の拡大を防ぐことに



なるので、次のことを心がけて、まず、インフルエンザを予防しましょう。

- ① 外出後は必ず石けんで手を洗おうがいをする
- ② 部屋の乾燥を防ぎ、定期的に換気をする
- ③ 抵抗力をつけるため、バランスのとれた食事と十分な睡眠をとる
- ④ ワクチン接種する

### 五、インフルエンザワクチン

ワクチンの接種は、インフルエンザにかかりにくくしたり、かかっても重くなるのを防ぐ効果があるといわれています。

次の方は予防接種法に基づき、一部公費負担でインフルエンザの予防接種を受けることができます。

- ① 六十五歳以上の方
- ② 六十歳以上六十五歳未満の方で心臓や腎臓、呼吸器などに重い病気のある方

★注：予防接種法の対象外の方は、これまでどおり、自己負担による接種となります。

市町村によって実施の時期や費用負担の額などが異なりますので、詳しくはお住まいの各町に確認してください。

ワクチン用のウイルスは孵化鶏卵で培養するため、卵などに対する強いアレルギーがある場合は、接種できないことがあります。事前に医師とよく相談してください。



# 酪農ヘルパーの有効活用に向けて

中 経営企画課

ヘルパー利用組合では只今、ヘルパー利用に関する意向調査を実施しておりますが、回収率が伸び悩んでおります。

また、回収率が悪いということは現状のヘルパー体制に満足されているかあきらめているかということのどちらかになると思います。後者のようなことであれば、事務局側としても改善していかねければなりません。個別に聞いて廻ると、「ヘルパー員に言いたいことがあるがグツと堪えている」と、おっしゃる利用者の方もおります。せっかくのアンケートなので、本音の部分をどんどんお聞かせ下さい。一歩ずつでも利用者の使いやすいヘルパー体制を目指していきたいと考えておりますので、まだ提出されていない方はご協力をお願い申し上げます。

さて、今回は、計画を建て活用されている好例と困った例を示し、使い方を紹介しました。今回は、ヘルパーする側から見た困ったことを紹介します。

## 【困ったこと】

### ①引継ぎ時

餌をどれぐらいの分量、給与しま

すか？と聞いても、任せるよ！と言われることが多々あります。任せられるのは嬉しいことですが、場合によっては「どれくらい与えればいいんだあ」と困ってしまいます。

### ②引継ぎ時

空け渡し時の引継ぎで、ベテラン二人の他に新人がついて行くことがありますが、来たことあるから解るよね！で引継ぎを終わってしまうと、新人に対しての勉強にならないのでご面倒でも教えて頂けるとありがたいです。

### ③引継ぎ時

多頭飼養になり、お父さん、お母さん、息子などそれぞれに仕事の分担が分かれていることもしばしばです。このような時、不慮の事故などで人が不在になり、ヘルパーを使いたいというところも起きる可能性があります。他の人の仕事、特に機械の使い方などを一通り覚えておいて、正確にヘルパー員へ引継ぐことが出来なければ、適正な作業が出来ずご迷惑をお掛けする場合があります。

### ④打ち合わせ時間

引継ぎの時間を他の家の仕事時間に来て下さいと言われると困ります。午前九時頃とか、午後三時頃など搾乳中であつたり、準備に入っている農家も少なくありません。次の現場

今月の私に任せて！は、ゆめの森公園で経理、総務

受付からクラ イムウォール

(室内の壁登りアトラクション) 補助業

務など八面六臂の活躍をしている篠永さゆりさんです。

さゆりさんは武佐の畑酪兼業農家・篠永栄氏の娘さんで、四女一男姉弟の真ん中。

(株)中標津都市施設管理センターに平成十四年入社し、現在、道立ゆめの森公園管理事務所管理係として業務をこなしていますが、以前ゆめの森公園を管理していた管理事務所からの経歴を含めると、平成十二年の開所当時からゆめの森と共に歩んできて、四年目になります。

ゆめの森のお姉さんというイメージが定着したのか、最近、利用者の子供達と街で遇うと「ゆめの森の人だ」と話しかけられることもしば

までの移動時間を含めて、仕事が入っている時間帯は困ります。

### ⑤作業時

機械に乗ることもありますが、メンテナンス不良の機械はびっくりします。牧場の親方は普段乗り慣れているので大丈夫で、気にも留めていないことかもしれません。ブレーキ



(株)中標津都市施設管理センター 篠永さゆりさん

しばで、照れてしまうそうです。取材日はスーツ姿でしたが、日によってはジャージ姿の時も…。趣味を尋ねると、スノーボードとバレーボールと元気の答えが返ってきました。スノーボードはジャンプ台なども臆せずこなし、クラブ(ジャンプ中にボードを手でつかむ技)ぐらいは出来ま

すよと。今後は、サーフィンやスキューバダイビング(沖縄で！)と活動的なところが「男っぽい」と人に思われている理由かも…。年々利用者数が増えているので、ゆめの森公園で「永く楽しんで頂けるような、ゆめの森公園にしたい」と今日も目を輝かせています。

のききにくいタイヤやショベルやトラクターはけっこうあります。

より良いサービスを提供していくために、意向調査に書き忘れたことなどございましたら、皆様のご意見をどんどん組織広報係へ2-3721までお願い致します。

私に任せて！②



# みんなの情報・告知 掲示板

## ほっかいどう牛乳だより 7号に安田さん

「ホクレン」ホクレンが発行するほっかいどう牛乳だよりの第七号がこのほど発行されました。

今号は「牧場訪問記」に指導農業士である安田稔氏の安田牧場(当幌)が掲載されています。牛も人も「余裕」が持て「気持ちよく」仕事が出来るとような仕組みを七ページに渡り紹介しているもの。

別項には根室地域の美味しい乳製品というところで、俵橋の「チーズ館」や「乾牛乳」、俣落の「牧舎」、当農協直営、乳製品工場の製品も掲載されています。

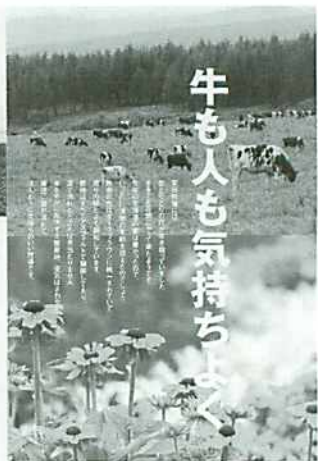
中標津町の特産である乳製品を町内外の人たちに紹介するにはうってつけの冊子となっております。組織広報係2-3721で部数を確保しておりますので活用されたい方は一報を。



ヤギ、仔牛が大人気!

## 商工会青年部イベントで 小牧場が大人気

「なかもつぷ」商工会青年部が十月十日、十一日に企画実行した、なかもつぷ市場が成功裏に終了しましたが、そのイベントにいぬい牛乳のヤギと仔牛たちも協力、子ども達の歓声があがりました。



ホクレンほっかいどう牛乳だよりVol 7に載っています

## 乳牛改良同志会の勉強会で 満員御礼

十月二十八日、夜八時から行われた乳牛改良同志会の勉強会には秋作業で多忙な時期の夜でしたが、多数の人が参加しました。今回は、「育成牛の繁殖と管理」について、六年ほど前から仔牛の預託業務を生業にしている豊岡の竹村富夫氏を講師に招き行いました。



育成牛の繁殖と管理について語る竹村氏

## 道政ふれあいバスで 支庁長と対話

「道立根釧農業試験場」十月二十八日、道立根釧農業試験場で行われた「道政ふれあいバス」は管内から様々な業種の十七人が参加し、根室支

庁長の村井茂氏と根室支庁を取り巻く道政について、直接対話することができました。

農業情勢からは、会場となった農業試験場のことについて、農業者が今欲しい現場で使える情報と農業試験場が試験・研究しているものが異なることが多いのでは? と農業者から指摘を受け、積極的に農業試験場が地域と密着し連携する体制を構築して行かなくてはならないことなども再確認して頂きました。



根室支庁長はとでもざっくばらんな方でした

## 今後の日程について

### 農試で16日に ナチュラルチーズフェア

「道立根釧農業試験場」根釧ナチュ



## 10月の組合日誌

- 1日 ルーキーズカレッジ  
酪農課土地利用型聞取調査  
食品加工交流部会役員会～2日  
女性部記念誌編さん委員会～2日
- 2日 乳牛改良同志会役員会
- 3日 ホクレン乳質改善協議会  
てん菜振興会役員会  
青年部親子農業施設体験事業会議
- 7日 ルーキーズカレッジ
- 8日 釧根農連執行委員会
- 14日 平成16年度新採用職員学科試験
- 15日 ルーキーズカレッジ  
町補助金監査
- 16日 1日皆貯金～17日  
青年部消費拡大委員会
- 17日 青年部農政・組織研究委員会  
ブロッコリー事業打合せ
- 20日 平成16年度新採用職員面接試験
- 22日 ルーキーズカレッジ  
第4回生産委員会
- 23日 いっぶくの会研修旅行打合せ会議
- 24日 第2回管理購買委員会
- 27日 第5回営農委員会
- 28日 乳牛改良同志会勉強会
- 29日 ルーキーズカレッジ  
和牛振興会役員会

http://www.geocities.co.jp/Heat-Land-Himawari/8931/

## 青年部のホームページです

J A 中標津青年部のHPが出来ました。まだまだ未完成の出来ですが、たまにのぞいて見て下さい。

ラルチーズ紀行が主催する「根釧ナチュラルチーズフェア in 中標津二〇〇三」が、十一月十六日午後一時から農業試験場で開催されます。  
当日は、パリ在住のチーズ、料理研究家である寺山恵子氏を講師に招き、「ヨーロッパチーズ紀行」と題した講演を行うほか、ナチュラルチーズの試食研修も行われます。参加費は当日千五百円。前売券(千四百円)は、町内の三友牧場や中標津町商工会で取り扱っております。連絡先☎3-3986。

## 編集雑記

「この行列は、なにに？」農協生活店舗が事務所横から移って増床し、「ある」となって今年で五年目。ある感謝祭一日目となった十月四日の朝の模様です。

この行列を見ると、「ある」の集客力、販売力、お客さんが「ある」に求める物のなんと大きなことか。改めて「ある」を支えている職員・准職員・パート・アルバイト、そして地域の人々に感謝する次第です。

時に、激動の時代。来年秋の出店が濃厚となった大型量販店に対し、町内の商工業者は様々な方策を巡ら

せております。伸るか反るか大型店の出店に合わせ、自らも店舗を拡大する計画をたてるどころ。逆に、後継者不在でこれを期にお店をたたむ計画のところ。営業品目がかち合わないように業態の転換を図るところなど。

中標津町は、今後も地の利を生かして成長を続ける街です。ある試算では、このままの人口推移が続くと根室支庁管内の一市四町は、中標津町のみ若干の増加傾向であり、平成三十五年頃には、減少を続ける根室市の人口を追い抜いてしまうという数字があります。

中標津町をどんどんアピールしていろいろな人に、我が農協の農産物・乳製品などを食してもらいたい。地域の人たちにもっと地

元で穫れたものを食べてもらいたい、これを食べられるから中標津に行くんだーと旅行者が増えるような相乗効果。これが地産地消の考え方の一つであり、この値ある特産メニューの登場を期待しつつ、数年前に活動を終了してしまっただ「野菜生産組合」のような団体が、現れることを切に願う。



# 懐しき古き一枚の写真



入植当時から昭和40年頃まで、畑起こしの風景です。  
馬が移動の手段であったり、今の農業機械の替わりだ  
ったりと、まさに馬車馬のように活用していましたし  
なくてはならない存在でしたね。  
作業しているのは女性ですが、今も昔も女性は「強い」  
のでした!?

写真提供 藤井 弘美氏